

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	亀岡市役所	代表者名	桂川 孝裕
担当者部署	政策企画部	連絡先電話番号	0771-55-9454
担当者役職	係長	担当者氏名	佐藤 由紀子
住所	621-8501 京都府亀岡市安野野々8		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	来年度に予定している事業の推進方法について、庁内説明をどう行うべきかなどに迷いがあったが、職員でできることと、できないことを具体的にわかりやすく示していただけたため、受けるべき支援の形と推進のイメージがかなりクリアになった。やりたいことはあるものの、どう進めていくべきかがイメージしづらい中具体的かつ適切なアドバイスを受ける機会は貴重だと感じる。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月14日	13時30分	14時30分		60
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 職員（事務局）	人数 2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	亀岡市デジタルファースト宣言で、市民サービスのデジタルファーストとして行政手続きのオンライン化・デジタル化を図るとしており、来年度公共施設の予約をはじめとするオンライン申請の拡充に取組、その取組の先には書かない窓口の実現を見据えている。オンライン申請の拡充にあたっては、現行の申請や事務の棚卸、業務の見直しを行った上で効果的に実施していく必要があるという認識を持っているが、具体的な進め方や外部からの知見の必要性をどう形にしていかに迷いがあった。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	庁内への予算説明のブラッシュアップと来年度のDX事業推進方法の方向性の明確化	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	職員だけでできることと、支援が必要な点を具体的に例示していただいた。また、来年度本市で導入を希望しているツールについて最新の知見を教示していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	来年度の重点事業を推進するための方向性が明確になった。また、自分たちですべきことと、外部支援を受けなければならないこと（難しいこと）の区分がはっきりとした。限りある財源の中での厳しい財政折衝となるため、今回の支援の内容を資料作成に生かしていきたい。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容（具体的にご記入ください）	来年度予算の獲得（内部協議）	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 来年度事業推進に向けての事務局へのアドバイスのためアンケートは行っていません。	

5-3. 今後の計画

最も当てはまるものリストより選択下さい

③现阶段では課題・問題が残っているため未定

事業の最終的な目指す姿

行政手続きのオンライン化と来なくていい市役所の実現

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

